

東大阪政心会

相互援助力である互助は低下している。そのため国は

市町村の役割として、断らない相談、参加支援、地域づくりに向けた支援の3点を挙げている。断らない相

談については、障害者相談支援等様々な相談機関が整備されている中で、それらとの整合性を取りつつ、場

合によっては新たな相談機能を整備することが想定されるが、市はどのように考えているのか。

福祉部長 本市は高齢、障害など様々な相談機関が整備されていることから、相談支援においては、これら

の仕組みを生かしつつ、関係機関の連携強化を図ることにより、国が求める体制整備を進める。

新社会党

個人質問 松平 要

市政における公正性の確保と透明性の向上を図り、市民に信頼される行政を求める！

職務違反と行政への信頼について
問 今年度の会計年度職員

の採用において、GSの職員が勤務時間中、頻りに隣

接地で喫煙していたことを内部告発した職員が不採用となった。事もあろうに

その面接にあたったのが、告発を受けた当該職員だった。告発をされた報復とい

われても言い訳のできないことであり、市政に対する信頼を著しく毀損する事象

であると断せざるを得ない。不正通報者を守る公益通報者保護制度の趣旨に鑑みて、

看過できない重要な問題である。告発を受けた職員を面接担当から外すなど、行

政への不信を払拭するために、今回の事実関係や行政手法に関し、総括しなけれ

ばならないと考えるが見解を問う。

市民生活部長 真摯に受け止め、今後の採用試験に生

かすよう、関係所管とも相談し努めてまいる。

学校図書館の司書配置について
問 現時点では未だ、司書の定員は満たされておらず、

少しでも補充する工夫をしなければならぬ。人的不足を補うために、司書を中心にした図書館人材ネットワークを構築し、読み聞かせなど、日常的に本と触れ合う機会を増やす工夫はできないのか。千葉県柏市では「子ども司書養成講座」を企画するなど、子どもを図書館運営の客体に止まらせず、主体的に参加させる試みもあるが、こうした他市の試みの情報収集と検討を行っているのか。

学校教育部長 読書活動が継続できるよう指導してまいるとともに、他市の好事例の情報収集にも努め、学校司書の効果的な活用につなげてまいる。

照隅の会

個人質問 中西 進泰

ごみの分別を更に推進せよ！愛ガード運動を活性化させる施策の実施を！

愛ガード運動の活性化について
問 ホランティアで、子どもたちの登下校を見守る愛

ガード運動は、交通安全の指導の役割を果たすだけでなく、犯罪の抑止的な効果もあり、またあいさつの大切さを教えるなど、子どもたちの学校生活に大きな貢献をしている。ただ活動の

時間帯が働く世代が困難な時間帯であるため、高齢者が中心にならざるを得ず、なり手が継続的に参入する仕組みがないと、高齢化が進み担い手が減って、事業の継続が困難になる。市は愛ガード協力を増やし、事業が持続可能なものにするためにどのような施策を考えているのか。

学校教育部長 協力員の募集については、市政だよりや市のホームページへの掲載、学校だよりによる呼びかけ、自治協議会への依頼

などを行ってきたが、さらに広報を工夫していく。ごみ分別とリサイクル推進について
問 家庭ごみの中には缶

瓶、プラスチック製容器包装、ペットボトル、古紙や衣類などが交ざっているが、これらは交ぜればごみだが分ければ資源となるものであり、分別の徹底が環境行政の中で市民が協働できる最も大事なことであると言える。家庭から排出されたプラスチック製容器包装や

ペットボトルは3割しか分別して出されていない。その理由は分別方法が分かりにくいからだと思われるが、広報を工夫してはどうか。

環境部長 ごみの分け方、出し方の冊子において、令和元年度からプラマークを強調し、分別排出を周知しているが、ごみ分別アプリ等の周知と併せて市民に分かりやすい広報に努める。

東大阪翔の会

個人質問 野田 彰子

住民を最優先にした荒本周辺整備を！ウイグル問題の絵本を人権教育に活用せよ！

ウイグル支援について
問 「命がけの証言」などの著者である清水ともみさんがウイグル問題について書かれた絵本「私の身に起きたこと」がある。この絵本を日本ウイグル協会が私を介して、啓発のため市の小学校に置くことを依頼した。教育の一環に活用してほしいとの思いであったが、

市の答えは「すばらしい絵本であるが、内容が残酷な箇所があり、教師の大半が教える知識を持っていない等の理由で難しい」というものだった。他市では市を挙げて取り組んでいるところもある。今後教師への対応を含め、絵本を人権教育に活かす準備はあるのか。

教育次長 子どもたちがよい社会を築いていくために解決しなければならぬ様々な課題について探求していけるよう、教材等の扱いについても国等の動向

を確認し、検討していく。住民不在の荒本周辺整備について
問 3月末でイオンが閉店し、モノレールターミナル駅に向けて準備が始まった。急なイオンの撤退により、周辺住民の方々はいきなりお買物困難者になり、困り果てている。高齢者の方々

は自転車や車に乗れず、ネットを使えない方も多く、食事を我慢してひもじい思いをされている現状に胸が痛む。荒本周辺構想などに思いを巡らせる前に、本来は住民のことを最優先に考慮すべきではないのか。今後出来る限りの支援が必要だが、市の見解を問う。

建築部長 イオン閉店の影響で食料品等生活必需品の購入などに不便が生じており、対策が必要と考えている。今後大阪府等の関係機関と連携し、お買物困難者の解消を図っていきたい。